

被災地に学ぶ、

災害時の議会と行動計画の必要性

道内では統計史上初となる震度7を観測した胆振東部地震発生から1年が経過しました。

地震の影響で本町も最長43時間の停電となり、その教訓を基に今年度、町では様々な対策を行ってきました。

議会も昨年11月の議会日より「災害時、議会は何をすべきか」で考察。今期は災害時の議会対応を具体的に計画する中、被災地である安平町、むかわ町に行き災害発生時と発生後の議会対応について視察、緊迫した災害対応と両町議会の動きを特集します。

主な被害状況

むかわ町			安平町		
被害額	193億9,000万円		被害額	176億9,456万4千円	
人的被害	死者数	1人	人的被害	死者数	0人
	重傷者	26人		重傷者	7人
	軽傷者	250人		軽傷者	10人
建物被害	全壊	40棟	建物被害	全壊	93棟
	大規模半壊	14棟		大規模半壊	54棟
	半壊	172棟		半壊	303棟
	一部損壊	3,260棟		一部損壊	2,440棟
避難所	避難所数	13か所	避難所	避難所数	13か所
	最大避難者数	1,008人		最大避難者数	718人
ライフライン	断水	1,031戸	ライフライン	断水	3,593戸 (全戸)
	断水復旧	9月12日		断水復旧	9月29日
	停電復旧	9月14日		停電復旧	9月18日

※提供資料より抜粋